

5 概 況

水道事業会計の業務実績を見ると、当年度の給水人口は 41,599 人で前年度比 622 人の減で、給水区域内普及率は 96.8%で前年度比 0.2 ポイント増となっている。有収率は 81.9%で、前年度比 3.6 ポイント減となっている。また、施設利用率は 53.7%、最大稼働率は 67.0%となっている。

詳細については、「6 業務実績について」に記述している（P3～4）。

経営成績を見ると、当年度純利益は 153,244,399 円で前年度と比較して 37,850,485 円（19.8%）の減となっている。この主な要因は、営業収益の減や営業費用の増によるものである。

詳細については、「7 経営成績について」に記述している（P5～8）。

財政状況を見ると、資産は、有形固定資産の構築物等の増により、前年度と比較して 41,239,390 円（0.3%）の増となっている。また、負債は企業債等の減により、前年度と比較して 192,475,954 円（2.3%）の減となっており、資本は一般会計からの出資金による繰入資本金と減債積立金取り崩しによる組入資本金の増により 233,715,344 円（6.0%）の増となっている。

詳細については、「8 財政状況について」に記述している（P9～14）。

給水収益の収入状況を見ると、現年度分の収入率は 98.4%で、繰越分の収入率は 54.9%となっている。

詳細については、「9 収入状況について」に記述している（P15）。